

卷之五



時、唐法以爲料、代、中、陸、内、院、言、文、
 無人、故、其、爲、乃、後、國、も、ま、ら、ぬ、今、ま、三、人、を、
 とい、國、を、言、一、件、の、中、も、あ、ら、ぬ、ま、一、を、
 中、も、ま、ら、ぬ、後、院、取、知、仕、に、依、り、傳、合、く、は、
 少、味、休、ら、ぬ、後、院、言、事、に、代、年、し、ま、ら、ぬ、ま、
 お、國、り、今、の、院、言、事、は、今、の、言、事、に、代、年、し、

卷之五



此書は、
 人教、
 とい、
 中、
 定、
 お、

此書は、南宮氏の語録なり。其の要は、
 儒の事と、文法之入、則、今、身、語、は、金
 子、け、又、子、子、は、子、子、と、南、宮、氏、の、言、を、
 經、典、と、稱、す、る、を、經、典、と、稱、す、る、と、い、ふ、
 了、明、の、事、と、い、ふ、事、を、南、宮、氏、の、言、を、
 了、明、の、事、と、い、ふ、事、を、南、宮、氏、の、言、を、
 了、明、の、事、と、い、ふ、事、を、南、宮、氏、の、言、を、

[illegible][illegible]

一

卷之六

五

うるも 八行をいふよりいふより 天のあまの
 神のともをたのむる 神のともをたのむる
 おうたのちをいふよりいふより 天のあまの
 神のともをたのむる 神のともをたのむる
 おうたのちをいふよりいふより 天のあまの
 神のともをたのむる 神のともをたのむる
 おうたのちをいふよりいふより 天のあまの
 神のともをたのむる 神のともをたのむる

12

[illegible][illegible]